

豊川小だより

7月号

ホームページ
QRコード



令和6年7月1日
北区立豊川小学校
校長 中村 順子

「訓練は本番のように」

校長 中村 順子

「訓練は本番のように 本番は訓練のように」。

これは災害や事件事故に向けた訓練の鉄則です。今から23年前の6月8日、大阪教育大学附属池田小学校に不審者が侵入し、教員と児童合わせて23名が殺傷されたという痛ましい事件がありました。あれから20年以上が経ち、当時の報道を知る教員が少なくなっていることを踏まえ、豊川小学校では、王子警察署と連携し、今年度の不審者対応避難訓練は、実際に110番通報をするという流れで実施しました。

*

6月12日、11時に犯人が敷地内に侵入したという想定で訓練が開始しました。犯人役は、日頃から本校児童がお世話になっている王子警察署スクールサポーターの方です。普段はとても温厚な方なのですが、そこはさすが警察官、訓練と分かっている私たちでさえ思わずたじろいってしまうような迫真の表情と声で、児童に合わせるようにと恫喝してきます。各担任は副校長の緊急放送を聞き、教室の鍵を閉め、カーテンで窓を覆い、教室内で「犯人」から見えない位置に児童を誘導し、声を潜めるよう指導します。また数人の男性教員は、前日の王子警察署の方々による訓練研修で受講した犯人との接し方のノウハウをもとに、校舎内を叫びながら歩き回る犯人に対し、さすまたを手に犯人を遠巻きにして校庭に出すよう追い詰めていきました。

そして数分後、110番通報を受けたパトカーが学校に到着し、犯人が無事確保されました。訓練開始からあっという間の出来事だったのですが、一部始終を見ていた私には、犯人が確保されるまでがとても長い時間を感じられました。

最後に体育館に集まって、犯人役のスクールサポーターの方から、子供たちの避難訓練中の態度が大変立派だったとお褒めの言葉と、「自分の身は自分で守る大切さ」についてのお話をいただき、訓練は終了しました。

*

このような事件は決してあってはならないのですが、450人以上のお子さんをお預かりしている本校では、一人一人の安全を守るために、常に万が一のことを想定して避難訓練等を行っています。日頃から、「訓練は本番のように 本番は訓練のように」の念を忘れず、今後も児童の安全管理を行ってまいります。

夏休みに入ると、いよいよ約2年半にわたるリノベーション工事が始まり、多くの業者や工事車両が敷地内に入るようになります。

工事中は児童の安全確保を第一に、担当の各方面としっかりと情報を共有してまいります。

*

40日以上のお休みは、お子さんをご家庭や地域にお返しすることになります。夏休み前には、今回スクールサポーターの方からご指導いただいた「自分の身は自分で守る」ことについて指導をしていきますが、保護者や地域の皆様にも児童を見守っていただくとありがたく存じます。よろしくお願いいたします。



7月 土曜公開について

7月13日(土)の学校公開予定

- ・2校時(9:35~10:20)
- ・3校時(10:25~11:10)

子供たちの授業の様子をぜひご覧ください。

詳しい公開内容は、追ってご連絡します。

(担当 羽角智美)

9月 道徳授業地区公開講座・保護者会について

9月7日(土)の予定

- ・2校時(9:35~10:20) 道徳地区公開講座
- ・3校時(10:25~11:10) 意見交換会

講師…聖徳大学名誉教授 吉本 恒幸先生

- ・児童下校後(11:30~) 保護者会

皆様ぜひご参加くださいますようお願い致します。

(担当 砂川 梢)